

事務事業名	小切手の振出し事務				担当	会計管理者 会計課 出納係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	1	市民本位の窓口サービスの向上				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠	地方自治法第232条の6地方自治法施行令第165条の4真岡市小切手等事務取扱規程					☒ 単年度繰返（開始年度 S 2 9 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	4. 会計管理費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	債権者への支払いをするため、指定金融機関へ小切手を振り出す事務。小切手を振り出す際には振出簿に年度、日付、金額、小切手番号等を記入し、決裁を受ける。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 指定金融機関への小切手の振出し 2年度計画 元年度と同様			⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
			名称	単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)
			ア 小切手の発行枚数	枚	781	808	874	792	850
			イ 小切手の振り出し金額	千円	60,049,790	54,980,526	53,079,671	57,664,101	65,000,000
			ウ						
			エ						
			オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 債権者、手当受給者			⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
			名称	単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)
			ア 指定金融機関への発行枚数	枚	781	808	874	792	850
			イ						
			ウ						
			エ						
			オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 債権者への支払の利便性、安全性を確保するため小切手の振出しを行う			⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
			名称	単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)
			ア 安全に振り出された小切手の割合	%	100	100	100	100	100
			イ						
			ウ						
			エ						
			オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 適正に処理された会計事務			⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
			名称	単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)
			ア 安全に処理された会計事務の割合	%	100	100	100	100	100
			イ						
			ウ						
			エ						
			オ						
(2) 総事業費の推移			単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	
		事業費計（A）	千円	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	180	212	210	200	210	
		人件費計（B）	千円	748	880	875	809	849	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	748	880	875	809	849	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。	支払事務の利便性、安全性を確保するため
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？	支払日を調整することにより小切手発行枚数の減をはかった
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	